



MORIOKA
ROTARY CLUB WEEKLY

第6例会(8月10日)
平成24年8月24日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10
川徳デパート内
例会場 同上 TEL(651)1111(代)
FAX(653)5622
例会日 毎週全曜日12時30分～

会長 藤村 文昭
幹事 佐藤 重昭
会報 福田 荘介
クラブ直通電話 TEL(653)5682

奉仕を通じて平和を Peace Through Service..... R1会長 田中作次



ゲスト卓話

みのり ひかり
「**農と輝の大地**
八幡平市実現のために」

八幡平市 市長
田村 正彦 氏

◆スピーカー紹介◆

田村正彦さんは昭和23年生まれ。地元・八幡平市平館ご出身です。平成元年、西根町の町議会議員、平成7年に岩手県議会の議員に当選。平成17年に県議会議員を辞任。初代八幡平市長に当選。平成21年に再選されて、現在二期目。八幡平市は、地理的に北東北の中心にあります。(阿部広会員)

旧西根町・松尾村・安代町が平成の大合併によって八幡平市を創り上げました。普通であれば、5万人以上の人口がなければ市になれませんが、平成の合併は特例で「3万人以上の人口があれば市として認める」ということで、八幡平市の名称を名乗っています。当時は3万1,900名ほどの人口でしたが、7年ほど経過した現在、人口は3,000人ほど減っているのが実態です。これは八幡平市に限らず、岩手県や日本という規模で当てはまる。どこの自治体も、人口減少に歯止めをかけるために何をすればいいのか、思い悩んでいると思います。

八幡平市の優位性は交流人口が多いこと。いわゆる観光客が多いことと認識しています。交流人口をいかに増やすか。それが市全体を活性化させる基になるということで、交流人口の増大策を最重点に取り組んでいます。

八幡平市の後期基本計画
人口減をいかに食い止めるのか

合併したとき、八幡平市は十年間の計画を創りました。前期5カ年・後期5カ年で、現在は

後期の計画に入っています。合併当時から、どこの自治体もそうでしたが、「あの平成の大合併とは何だったのだろうか」と考えました。「個々の自治体では財政的に立ち行かなくなるから、合併して財政を立て直しなさい」というのは、ひとつの大きな前提になっていました。

財政面からみると、平成17年当時、八幡平市の旧3町村が持ち寄った預金は25億円で、持ち寄った借金は360億円。今はどうかというと、預金が83億円、借金が318億円ぐらいですから、トータルで100億円ぐらいの財政改善がなされている。後期計画づくりの基本となっているのは「人口減をいかに食い止めるのか」。後期最大のテーマとなっていて、大きく5つの重点事項を掲げています。

1点目が定住化促進。第1次産業を大事にしなければならないということで、2点目が第1次産業の生産力の向上と実りの大地。3点目が大更駅周辺の賑わい創出政策。4点目に、八幡平市には約100キロの花輪線の12の駅があり、その50数パーセントは八幡平市にある。鉄路の大きな集約地点である大更駅の周辺に賑わい

を創り出すことは、定住化および人口減の解決には重要だと考え、これから取り組もうとしていくところです。5点目は交流人口に関係しますが、合宿の里づくり。そして滞在型観光の推進。八幡平観光で八幡平市に泊まってもらわなければ経済的な効果は上がらないということで、滞在型観光にこれから大きく取り組んでいきたいと、計画に載せました。合宿の里づくりについては、ラグビーをはじめ、テニスなどのいろいろなグラウンドの整備を整えています。八幡平市の素晴らしいグラウンドを全国の人に利用していただきたいということで、合宿の里づくりを掲げています。八幡平市を何とか合宿の里としてアピールしていきたいと思っています。ただ、どこの自治体もそうですが、市の職員というのは商売感覚が皆無なので、いかにすれば八幡平市がお客様に来てもらえるアピールができるのか。職員の意識改革からしなければならぬ。粘り強くやっていかなければならないと思っています。

先ほどの財政の話に戻ります。7年で100億円ほどの財政改革ができたのは、やはり合併効果です。行政の予算、事業の執行は非常に複雑で、一般の方には理解できないような仕組みになっています。例えば、1億円の道路を1本造る場合、国の地域活性化補助金や道路を造るための補助金が5000万円入るとします。普通であれば、あと5000万円出して道路を造りますが、過疎地域の市町村は過疎債が使えます。合併した市町村は合併特例債という借金が金融機関からできる。その7割が国から交付税で入ってきます。1500万円の負担金があれば、1億円の工事ができる。道路ばかりではありません。建物でも住民の交通確保のためのコミュニティ

バス運行など、ほとんどのことが対象になっています。少ない負担で事業が展開できる。これは、まさに合併の効果です。先ほど、八幡平市が「360億円の借金を持って合併した」といいましたが、その借金は何を基本にしているのかというと、先ほどいきました補助金を除いた5000万円の借金です。実際は、その7割が国から交付されるので、数字上は360億円でも実態は100何億円なのです。ところがマスコミは数字で報道しますから、「あそこは借金が多くて困っている」という印象を与えかねない。同じ合併特例債にしても過疎債にしても、借金の仕方があります。金融機関に何年で償還の借金をするのか。20年とか25年という長い借金は楽なのですが、次代の子どもたちの負担になっていく。「それは絶対に避けなければならない」ということで、八幡平市の借金は最長で十年で。十年経てば借金はゼロになります。そういうやりくりを八幡平市ではやっているということです。東北には80ぐらいの市がありますけれども、将来の子どもたちが負担する指数では、八幡平市は東北で3番目に良い指数を持っています。それは長期の借金をしていないためです。将来にツケを残さないやり方でやりくりをしながら、市民の福祉の向上などに努めていくことが、我々の大きな役割です。

定住化促進と合宿の里づくり ニュージーランドやチリとの交流

定住化促進については、特に子どもたちを対象に考えています。子どもを育てやすい環境を創らなければ街の将来はない。これも行政の基本のひとつになっています。県内市町村に先駆けて、保育所料金は基準額の半額。第3子から

は無料です。子どもの医療費は、小学校卒業まで無料にしています。そして各学校に学童保育施設ということで、放課後は保護者が迎えに来るまでフォローする施設も造っています。それぐらい手厚く将来の八幡平市なり、岩手県なり、日本を背負っていく子どもに投資しているのですが、せっかくそうした良いことをしていても、対外的にアピールしていない。それが自治体職員の欠点です。八幡平市で子育てをしたい人たちにアピールする力は、是が非でも必要になると思っています。そういう意味で画期的ですが、市として IGR（岩手銀河鉄道）に広告スペースを毎年確保し、どの課がどのような政策をしているのか、アピールしています。

岩手県は昨年、東日本大震災の大きな被害を受けて、それぞれの自治体が大変な思いをしながら行政運営をしています。とにかく前を見て、いかに岩手県そのものをアピールするのか。私は、それが復興に繋がると確信しています。そういう意味で私は先日、東京の市場に向向いて「岩手県の野菜は安全で安心だ」と宣伝してきましたし、知事と2人で台湾に向向いてアピールもさせてもらいました。岩手県を外に向向ってアピールすることは、八幡平市のアピールにも繋がると考え、頑張っているところです。

先ほどお話した、合宿の里づくりという大きな政策展開についてです。平成28年に岩手で国体が開催されます。その競技でゴルフ、ラグビー、テニス、射撃、相撲の5種目を私どもが引き受けています。八幡平市を売り込むためにはスポーツを誘致しなければならない。オリンピックや高校野球を見てもそうですが、やはりスポーツが県民の皆さんに明るさ・やる気・元気を与えてくれます。新聞などを見ると、釜

石でラグビーワールドカップの大会誘致をしたいという話もあります。私は大賛成です。ワールドカップを日本で開催するとき、合宿する場所として岩手県を選んで欲しいと強く思っていて、数年前からアピールしています。具体的には、八幡平市はりんどう栽培がさかんですから、りんどうの関係でニュージーランドと合弁会社を創り、八幡平市のりんどうの種を合同で育種する事業をしている。また、八幡平市のりんどうは、チリで栽培してもらっています。八幡平市はオランダ市場にりんどうを輸出していますので、季節的なロス（八幡平市で出荷できない時期）に、チリで作付けしてもらっているりんどうをオランダ市場に出しています。

話が逸れましたが、八幡平市はりんどうを通じてニュージーランドと交流があるので、ニュージーランド大使にお願いしているのは、「ワールドカップを日本で開催するときは、オーブルックスを何としても岩手県によこしてくれ」ということです。大きな効果が見込まれますから、それに全力を挙げたい。そのためには県とも連携しなければならないと思っています。そうした素晴らしい夢を自治体として持ちたい。夢を追いながら、八幡平市の親交に務めていきたいと思っています。ありがとうございました。

例会報告

第6回例会
平成24年8月10日(金)

- 於 川徳 12時30分 開会点鐘
- ・司会 藤村文昭会長
- ・ソング 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱
- ・ゲスト 田村正彦様(八幡平市長)。
- ・会長報告 藤村文昭会長
- ・入会祝 斎藤和好、高橋真裕君。
- ・誕生祝 小川英行、川村宗生君。
- ・幹事報告 佐藤重昭幹事

【他クラブ例会変更のお知らせ】

- 盛岡北R.C.= 8月15日(水)は特別休会。8月22日(水)は納涼会のため18:30~マリオス20階「スカイメトロ」。
- 盛岡西R.C.= 8月16日(木)は特別休会。
- 盛岡東R.C.= 8月13日(月)は特別休会。8月20日(月)は通常夜例会を18:30~「すべいん倶楽部」に会場変更。
- 盛岡中央R.C.= 8月14日(火)は特別休会。8月21日(火)は花輪ばやし見学会のため19日(日)に日時変更。
- 盛岡滝ノ沢R.C.= 8月16日(木)は

特別休会。8月23日(木)は夜例会のため18:30~に時間変更。

【ニコニコBOX】

◆福井誠司君…“10名の純増を目指して、60名の候補者を!!”皆様の幅広い人脈と信頼の力をお借りして、最大の危機を乗り越えたいと考えます。是非ともお1人1枚のカード提出をお願いしてニコニコします。

- メークアップ
盛岡東R.C.=吉田(幸)君。クラブ委員会=吉田(育)君。

※訂正とお詫び…第4回例会(7月26日)号において、新入会員紹介・岡村弥会員のお名前を誤って記載いたしました。訂正の上、深くお詫び申し上げます。



出席報告 □ 会員数 /62 名 □ 出席数 /37 名 □ 出席率 /69% □ 前々回修正出席率 /82.14%

プログラムの
お知らせ

- ・8月17日(金) 特別休会
- 24日(金) ゲスト卓話 草野 悟氏 (岩手県中核観光コーディネーター)
「三陸沿岸・今後の観光と産業・復興への取り組み」
- 31日(金) 新入会員卓話 嘉本孝志会員
「未定」
- ・9月 7日(金) 新入会員卓話 山岸晃浩会員
「未定」
- 14日(金) ゲスト卓話 漆原栄美子さん (民謡歌手)
「未定」
- 21日(金) ゲスト卓話 前田千香子さん (焙茶工房しゃおしゃん主宰)
「未定」

- 本号編集担当 / 矢後 勝洋
- 次号編集担当 / 菊池 尚